

1 プログラムの提出期限

特に指示が無ければ、次回授業日の前々日とする（A クラスは火曜日，B クラスは水曜日が×切）。「必須」と書かれた課題は必ず提出すること。

2 プログラムの提出方法

2.1 プログラムの提出先

作成したソースファイルのみを

`https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/`（学外からもアクセス可）

から提出する。その際には、プログラムが存在するコンピュータ（実習用コンピュータ）で Web ブラウザを起動する必要がある。実習用コンピュータでは `w3m` というブラウザが使える¹。

2.2 `w3m` (テキストベース Web ブラウザ) の使い方

2.2.1 起動法

`w3m [URI または file]`²

例) `w3m https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/`

送信ファイル名記入時の誤りを防ぐために、`w3m` はソースファイルが存在するディレクトリ（カレントディレクトリが `~/pp` の状態）で起動するのがよい。

2.2.2 操作法

q または Q	終了
<TAB>	次のリンクにカーソル移動
<ENTER>	カーソル位置のリンクページ閲覧やフォームの記入等（GUI ブラウザでの左クリックに相当する操作）
CTRL-c	操作の中断
B	現在表示中のバッファを削除（「前のページに戻る」的操作）
H	ヘルプ画面の表示
U	URL を指定してページを表示
o (小文字のオー)	設定変更画面を表示

カーソル移動や画面の上下移動等の操作には `less`, `emacs`, `vi` 流のコマンドが利用可。画面の乱れは `CTRL-l` で直せる。その他のコマンドについては、ヘルプ画面や `man` ページを参照のこと。

`w3m` はファイル名の入力誤りを検知しないので、ファイル名の記入誤りを防ぐために、フォームへのファイル名記入では <TAB> によるファイル名の補完を使う こと。

¹X Window System が動いているならば、`firefox &` を実行して Mozilla Firefox でのプログラム提出もできるはず。

²コマンドラインオプションを付けて `w3m` を起動することもできる。詳細は `man` ページを参照のこと。